

ひびき

Vol.5

森まさき

議会報告

編集・発行

森まさき

TEL0859-39-3190

Fax0859-39-3191

〒689-3537

米子市古豊千 304

6月米子市定例議会

第44回米子市議会定例会が6月10日から25日までの16日間の会期で開催されました。
議案28件報告3件が原案通り承認され、請願、陳情5件が採択されました。

常任委員会・議会運営委員会の選任

任期満了にともなう常任委員会・議会運営委員会の選任が行われました。

私は、建設水道常任委員会、議会運営委員会、地方分権・合併等調査特別委員会、行財政改革等問題調査特別委員会、以上4の委員会に属することとなりました。

常任委員会

(総務文教委員会)

- ◎中本実夫 ○渡辺穰爾
- 伊藤ひろえ 岡本武士
- 中田利幸 安田篤
- 八幡美博

(産業経済委員会)

- ◎谷本栄 ○尾崎太光子
- 遠藤通 岡村英治
- 原紀子 山形周弘
- 中村昌哲

(民生環境委員会)

- ◎松井義夫 ○佐々木康子
- 生田薫 岩崎康朗
- 中川健作 藤尾信之
- 安木達哉

(建設水道委員会)

- ◎足立智恵 ○矢倉強
- 笠谷悦子 錦織陽子
- 室良教 森雅幹
- 宮田誠
- 吉岡知己

(議会運営委員会)

- ◎藤尾信之 ○中田利幸
- 松井義夫 安木達哉
- 佐々木康子 八幡美博
- 山形周弘
- 森雅幹

特別委員会

(美保基地問題等調査特別委員会)

- ◎門脇威雄 ○岡本武士
- 足立智恵 伊藤弘江 原紀子
- 佐々木康子 室良教 渡辺穰爾

(都市整備問題等調査特別委員会)

- ◎山形周弘 ○岩崎康朗
- 岡村英治 尾崎太光子 笠谷悦子
- 中村昌哲 宮田誠 矢倉強

(行財政改革問題等調査特別委員会)

- ◎中田利幸 ○錦織陽子
- 遠藤通 門脇威雄 谷本栄
- 原紀子 藤尾信之 宮田誠
- 室良教 森雅幹 安木達哉
- 八幡美博 吉岡知己

(議員定数問題調査特別委員会)

- ◎八幡美博 ○松井義夫
- 生田薫 遠藤通 門脇邦子
- 佐々木康子 谷本栄 安木達哉

(地方分権・合併等調査特別委員会)

- ◎中本実夫 ○安田篤
- 足立智恵 岩崎康朗 岡村英治
- 岡本武士 尾崎太光子 笠谷悦子
- 中田利幸 森雅幹 矢倉強
- 山形周弘 渡辺穰爾

※ ◎委員長 ○副委員長 を表します。

6月議会

質問抜粋

中学1年生の30人学級問題

3月定例会において市長は今回小学校低学年に続き全中学校1年生の学級を30人学級にするよう予算措置を講じたとして、平成16年度予算を提案されました。

もとより30人学級という言葉は、1クラスが30人を超えると2クラスにするというものであります。4月に学校に行つて見ると35人学級になっていました。このことの経緯について説明を願います。

■市長 米子市では中学1年生が36人以上のクラス編制となるすべての学校のクラス編制を30人学級とすることにより、生徒1人1人に応じたきめ細かな指導の充実による中学校生活への円滑な移行、基礎学力の定着や学力の向上を図るもので、鳥取県の事業の名称が小中学校における30人学級(中学校1年生)であったので、3月議会の平成16年度当初予算説明の中では中学校1年生の学級を30人学級と表現した。

■森 私もこの提案を受けて30人学級ということ(市民の)皆さんに新年度からは30人学級ですよということとでずつと話してきました。4月に中学校へ行ってみたら33人なわけですよ、1クラス。あれっということなんです。市長は県教委の30人学級という事業名を使って説明をしたということとですけども、これは私が受けた誤解でしょうか。

■市長 私どもは、県の事業名を使ったものであり、いろいろなところの説明に当たって若干説明不足だったかなという気はしている。今後その説明等についてどういうふうに変更していくかということとは考えていきたい。

森 OPINION

市長の議会での提案が違っていたということとは大きな問題です。しかし、私は、間違ったときは間違いと素直に認めて訂正すればそれでいいと思つていますが、市長の対応は、間違いを認めず、逆に多数会派へ根回しをして質問を乗り切るというもので、残念でした。

学校給食事業について

■森 中学校給食の実施について、市長の取組む姿勢を伺う。

■市長 小学校給食の0157対策終了後に、中学校給食に取り組むという従来の方針に変わりはない。ただ、現下の財政状況を考えると、どういう形でできるのか、保護者の意見等も伺いながら、実施について検討していきたい。

■森 中学校給食の検討組織を作るということだが、その位置づけ、過去の検討委員会の結果との整合性はどうかの如何。

■教育長 今回の検討組織は中学校関係者と市関係職員を中心にしまして中学校給食にかかわる問題点を具体的に調査、研究、整理するための実務者レベルの調査会として位置づけております。

また、平成6年の米子市立中学校給食検討委員会の提言との整合性については、今回の調査、研究は実務者レベルの調査会なので、中学校給食を実施するのにかかわらないかといった基本的方針にかかわることについては検討しない。あくまでも実務的な問題の調査、研究なので、基本方針について整合性が問題になることはないと考えている。ただし提言にある単独調理場建設について、あるいは市直営調理といった具体的な実施方法などについては調査、研究の対象となる。

■森 米飯給食は、パン製造業者がパンを焼く釜を使ってご飯を炊いている。学校によって大きく違うが、米飯給食時の食べ残しが多く、「ご飯がベチョッとしておいしくない」という子どもたちの声も聞いている。鳥取県産米「おかわりくん」という良質な米を使用しているにもかかわらず、米飯給食時に多くの食べ残しが出ることにについてどのように分析しているか。

■教育長 一番の原因は、家庭における米離れがあると思われる。しかし、米飯のときでも、炊き込みご飯等味がけがしてあるご飯は、ほとんど残らないような状況であるし、反対に白ご飯で副食が魚や煮物のときは、ご飯も多量に残っており、副食によって米飯を食べる量が左右される傾向もある。給食のご飯が「おいしくない」ということについては、1学級の人数が少ない場合には水加減が難しく、硬くなったり軟らかくなったり均一に炊飯できないことがあったが、現在では2学級分をまとめて炊くなどおいしいご飯が提供できるよう工夫をしている。

■森 パン製造業者での炊き方が悪いためにまずいのではないか。

■教育長 家庭用の電気釜で炊けばおいしいご飯が炊けるはず。議員指摘のようにパンを焼く釜で炊くために、炊き方が悪いのではないかと思う。

■森 私の調査では、米飯専用機械を保有する専門業者は、おいしいご飯を現行の値段で量的にも供給可能だが、米飯調達先を変えることはできないか。

■教育長 米飯は県学校給食会が、その基準にそつて委託契約を結べば可能である。ただ、安い業者ができたからといって、すべてをすぐに変えるかどうかは、今までの流れからして、今後検討しなければいけない。

■森 米飯給食はパン製造業者が米飯を供給しているため、週3回しか実施できていない。調達先を専門業者に変えることにより、週5回実施できる。おいしく、また、安くでき、良いことづくめだ。ぜひ検討されたい。

森 OPINION

9月末に箕蚊屋中学校でPTAでの給食試食会を行いました。試食した43人のほとんどが、ご飯がまずいと感じていました。

パン業者との関係があるので変えられないとするなら、誰のための給食なのか、と言うことです。もちろん子どもたちのためのものです。

来年4月から箕蚊屋中学校での試行を目指して教育委員会と継続折衝中です。